（公印省略）
三議第２５８号
令和８年９月２５日

三田市長
田　村　克　也　様

三田市議会議長
肥　後　淳　三

意見交換会「さんだ声ひろば with 市議会」における要望事項について

７月に実施した意見交換会において市民から出された意見について、市議会として協議を行った結果、下記のとおり市長へ要望いたします。

つきましては、公務御多忙のところ恐れ入りますが、１０月１５日（木）までに回答を賜りますようお願い申しあげます。

記

＜要望事項及び要望理由＞

	要望事項	要望理由
１	不登校児童・生徒の給食費の補助について、支援の対象は不登校児童生徒にとどまらず、食物アレルギーにより給食提供を受けられない児童生徒や病気療養等で長期間の入院を余儀なくされる児童生徒も含め、幅広く検討・対応するよう要望する。	三田市で給食無償化を進める中、不登校やアレルギー等で給食を利用できない家庭に対し、経済的・精神的な不利益（実質的な自己負担感）が生じている。 本課題は三田市のみならず全国的な課題でもあることから、給食無償化の恩恵が公平に行き渡るよう、実情に応じた柔軟な制度設計と財源措置が必要である。
２	中学生および高校生（中高生世代）全体を広く対象に含め、行政として実効性のある居場所づくりの具体策や支援体制の検討を速やかに進めることを強く要望する。	中高生の居場所づくりにおいて、学校教育の枠組みだけでなく地域全体で取り組む「地域ぐるみ」の視点と対応が課題となっている。 地域クラブへの参加状況にかかわらず、中学生の居場所づくりは本市における喫緊の課題である。また、高校生の居場所に関しては、かねてより市内に適切な活動・滞在場所が不足している点が指摘されている。
３	小野公園のトイレ整備について、小野公園の観光地としての魅力をさらに高めるため、多目的トイレの整備等、設備機能の早期改善を要望する。	トイレについては、来訪者の利便性や高齢者・障害者への配慮から早期の衛生面およびバリアフリー対応を求める意見がある。 既存施設を活用して費用を抑えながら多目的トイレを整備する方法や、クラウドファンディングなど新たな財源確保策の検討も必要である。